



# 生命の源流へ： 日本プロポリスが「ブラ ジル産」を選び抜く理由

品質の定義は、工場ではなく  
「巣」の中で決まる。

私たちがなぜブラジル産にこだわるのか。それは単に「ブラジル」という土地のブランドではありません。その答えは、過酷な環境を生き抜く現地のハチの「逞しさ(たくましさ)」と「生命力の強さ」にあります。元気の源が人にも伝わる——その生物学的な必然性を紐解きます。

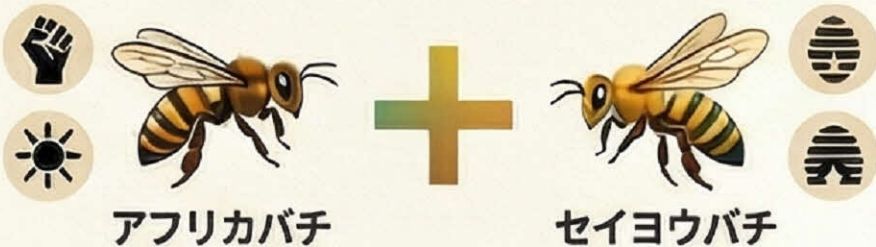


# ブラジル産プロポリスの強み：生命力溢れるハチが生み出す天然の守護力

ブラジル産プロポリスの卓越した品質の秘密は、1950年代に誕生した強靱な「混血ハチ」にあります。  
病気に強く抗生物質を必要としないハチの圧倒的な生命力と、日本国内での厳格な検査体制が、その高い信頼性を支えています。

## 独自の生態：強靱な「ハイブリッド・ミツバチ」

### アフリカ種とセイヨウ種の混血



生命力の強いアフリカバチと、生産性の高いセイヨウバチの長所を併せ持つ「先祖」から誕生。

### 過酷な環境を生き抜く圧倒的な生命力

ブラジルの環境に馴染めなかった従来の種とは異なり、非常に逞しく元気な生態。



### 外敵から世界を護る「壁」

セイヨウミツバチの系統は、コミュニティや食糧を守るために強固なプロポリスを作ります。



## 安全性と信頼：抗生物質に頼らない品質

### 抗生物質不使用の自然な環境

ブラジルのハチは元々病気に強いので、巣の環境を整えるための薬剤を必要としません。



### 自社検査での抗生物質検出「ゼロ」



# ゼロ 0%

ブラジルのサプライヤーから届く原料に対し、日本国内で何度も厳格なチェックを徹底。

### 100%ブラジル産原料へのこだわり

元気の源が人にも伝わるよう、逞しいブラジルのハチが作った原料のみを厳選。





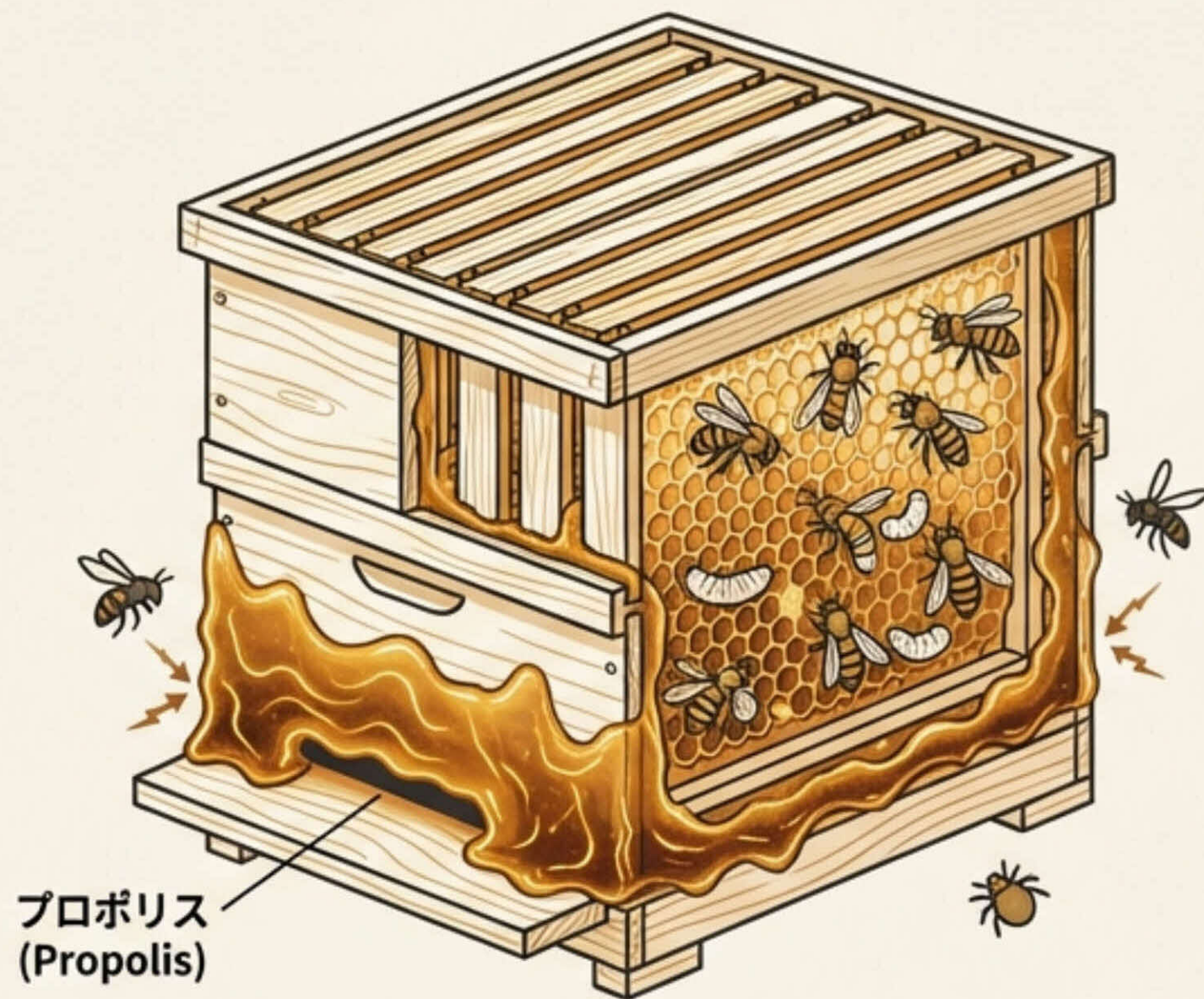
# プロポリスは、群れを護るための「城壁」である

明治維新以前の日本 (Pre-Meiji Japan)



明治維新以前の日本: 日本古来の「東洋ミツバチ」は、外敵に対し群れ全体の結束力で対抗します。彼らはプロポリスを作りません。

明治以降 (Post-Meiji)



明治以降: 養蜂技術と共に「セイヨウミツバチ」が導入されました。彼らは外敵の侵入を防ぐため、自ら「壁」を作り、巣（コミュニティ）を強固にします。これこそがプロポリスの起源です。

プロポリスとは、ハチが自分たちの生活、住処、そして食糧を外敵から守るために生み出す、生存のための盾なのです。



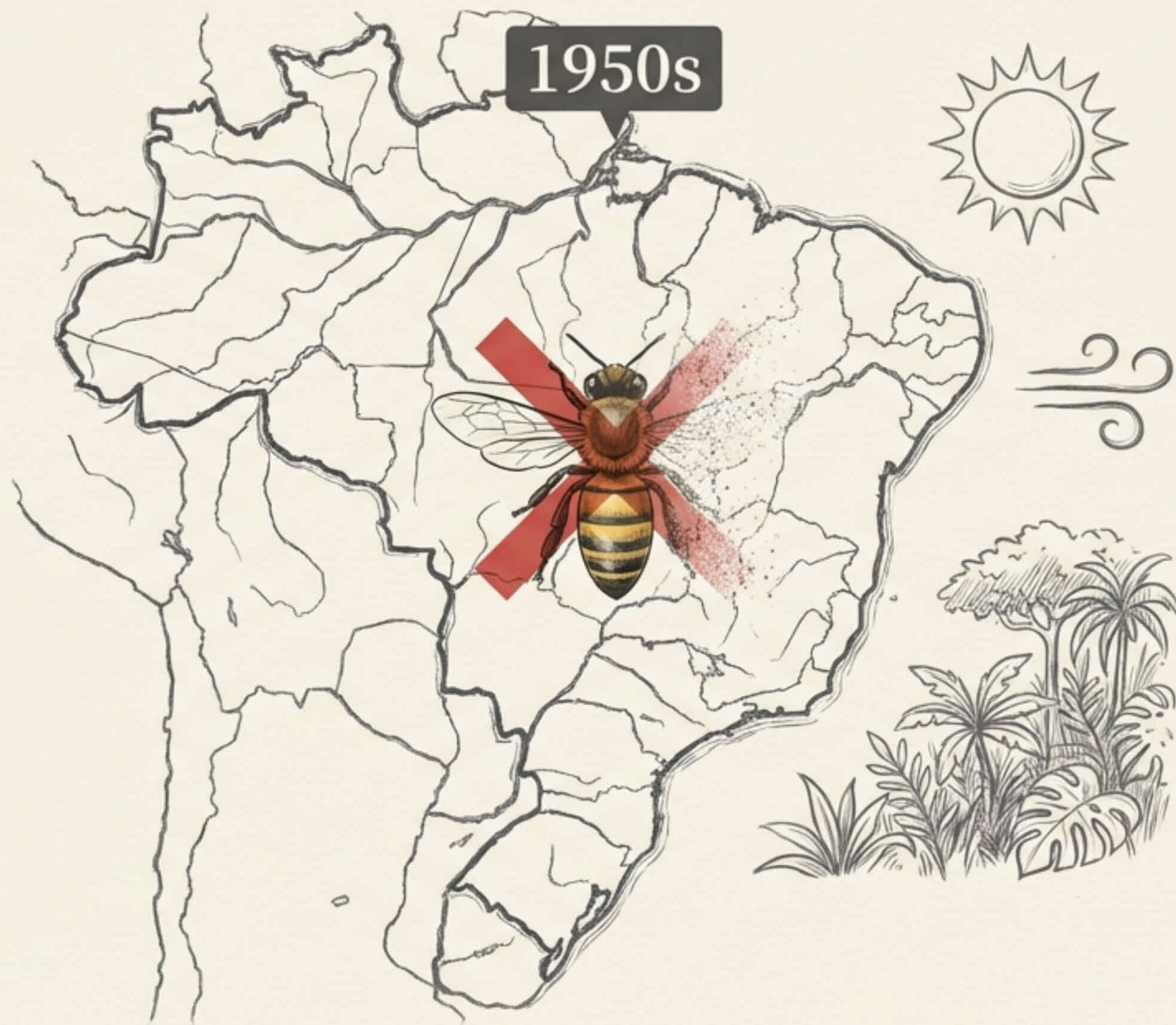
# 1950年代、ブラジルでの「挫折」と「全滅」

## 導入の失敗

ブラジルでの養蜂技術の導入は、日本よりもずっと遅い時期に始まりました。1950年代、セイヨウミツバチによる養蜂が試みられましたが、軌道に乗らなかった矢先、ミツバチが全滅してしまいます。

## 環境の壁

繊細なヨーロッパ種のミツバチにとって、ブラジルの野生環境はあまりに過酷でした。ここで「1からの出直し」が必要となったのです。





# 偶発的な進化：最強のハイブリッド種の誕生

凶暴なアフリカミツバチ  
(Fierce African Bee)



生命力 (Vitality)

セイヨウミツバチ  
(European Bee)



生産力 (Productivity)



ブラジル産ハイブリッド



ブラジル産ハイブリッド  
(The Ancestor)

## 研究室での交配:

ブラジルの環境に馴染む種を作るため、ある大学の研究ゾーンであらゆる交配が試みられました。

## 運命の出会い:

そこで偶発的に誕生したのが、「凶暴なアフリカミツバチ」と「セイヨウミツバチ」の混血種でした。

## アフリカミツバチの特徴:

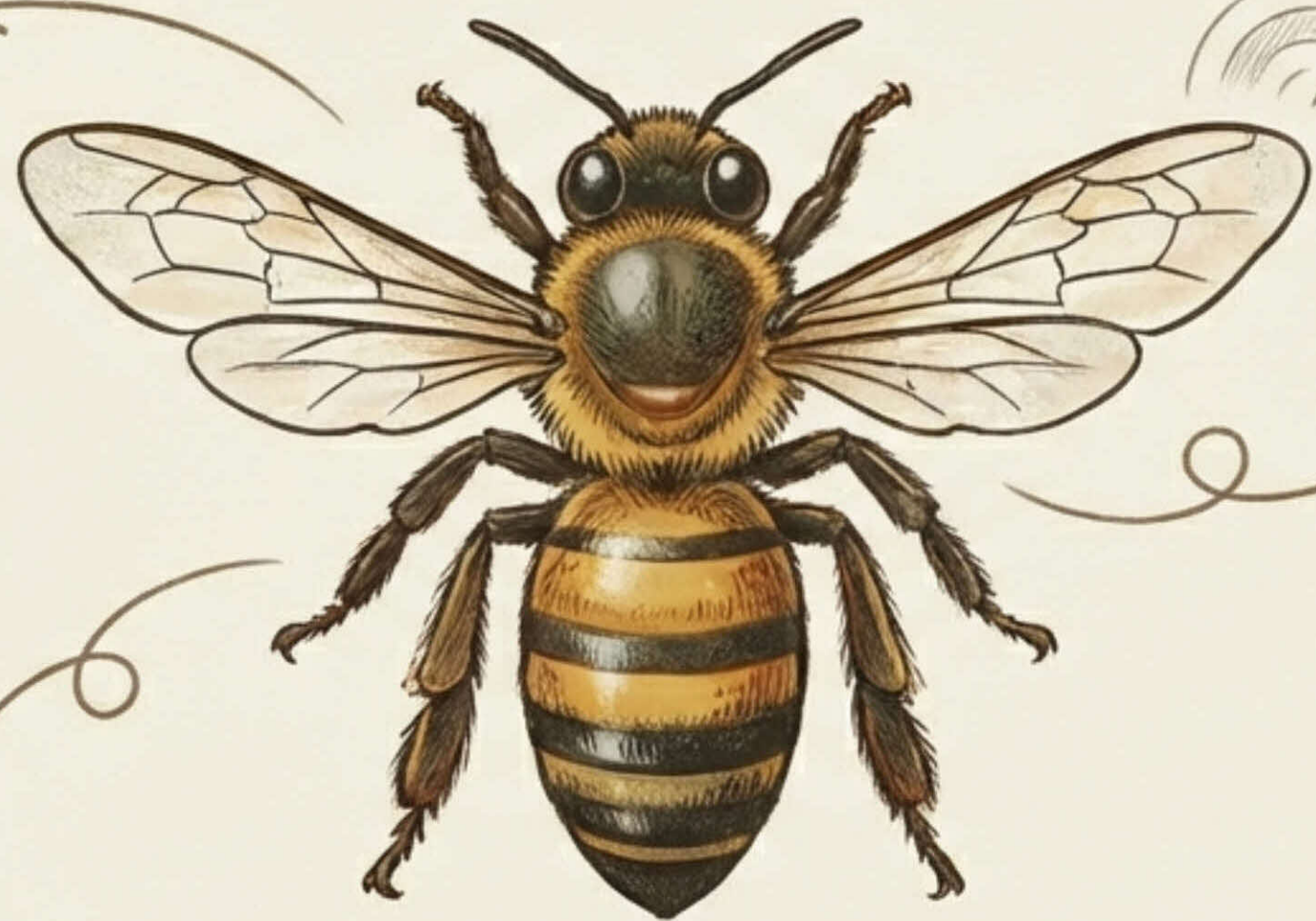
人に危害を加えるほど恐れられる一方で、非常に生命力が強く、逞しいハチです。この「野性」と、ヨーロッパ種の「生産力」を併せ持つハチこそが、現在のブラジル養蜂の「先祖」となりました。



# 「野生」が生み出す、比類なき防御本能

## 攻撃こそ最大の防御

ブラジルのハチは攻撃性が高く、外敵から巣を護る本能が極めて強い。



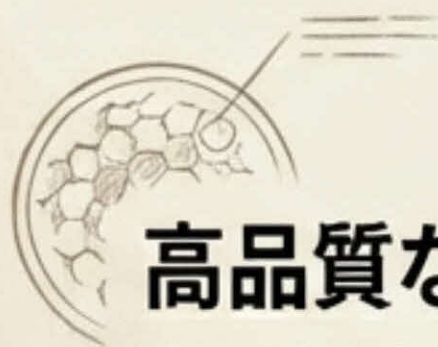
## 世界との違い



ヨーロッパや中国産とは異なる、別格の「ハチの生態」。

## 高品質なプロポリス

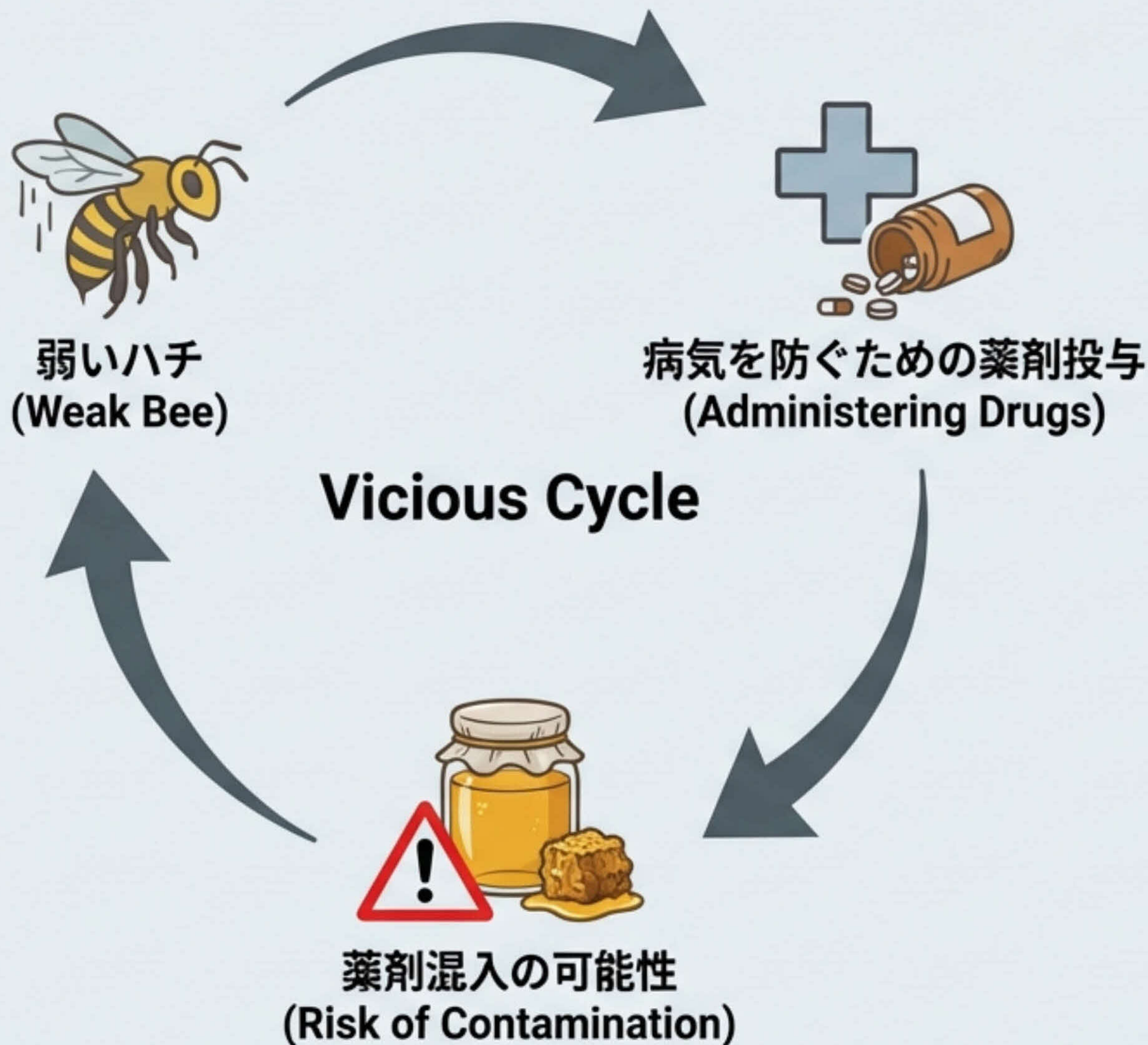
守る力が強いからこそ、より強力な防御壁（プロポリス）を大量に生産する。



結果として、植物群の違いだけでなく、この「ハチの生態の相違」こそが品質の決定打なのです。



# 業界の潜むリスク：「抗生物質」はなぜ検出されるのか



## 不都合な真実：

自然界の産物であるはずのハチミツや化学合成された抗生物質が検出され、輸入不許可・廃棄となる事例が後を絶ちません。

## 原因：

それは、ハチが弱いからです。心無い海外の養蜂家は、病弱なハチを死なせないために、巣の環境を抗生物質（薬）で整えようとします。

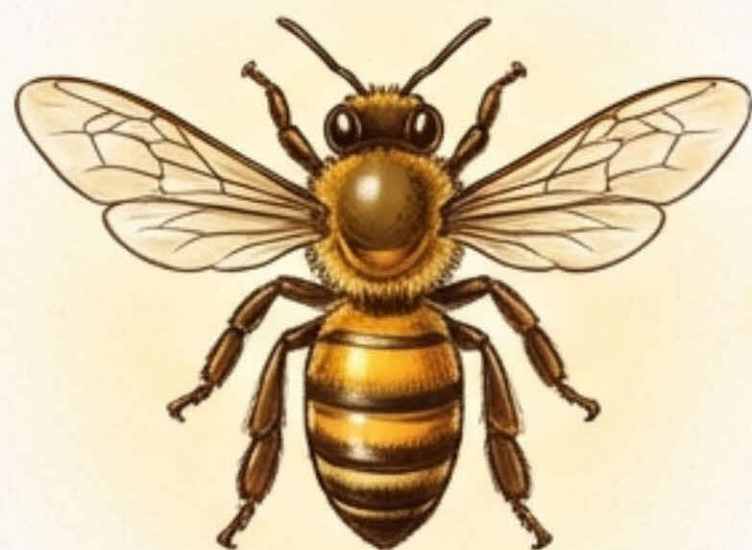
## 消費者へのリスク：

輸入検査をすり抜けた薬剤混入原料が、知らぬ間に「健康食品」として流通するリスクが存在します。



Natural Premium

ブラジルのハチは「病気知らず」。だから、薬はいらない。



強靱なハチ

病気にならない



薬剤投与の必要なし

自然のまま



純粋なプロポリス

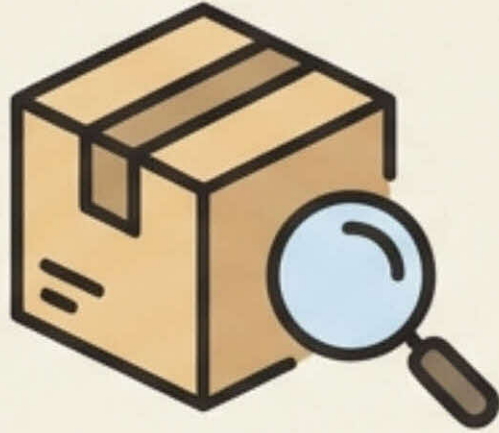
生物学的な安全性：アフリカミツバチの血を引くブラジルのハチは、極めて強靱で病気になりにくい体質を持っています。

薬物不要の証明：自分の力で生き抜くことができるため、人間が抗生物質を投与する必要がそもそもありません。

結論：「安全性」は、管理マニュアル以前に、ハチの「生命力」によって保証されているのです。



# 日本プロポリス品質管理室の誓い：検出ゼロの実績



輸入時抜き取り検査  
(Import Sampling Inspection)



国内多重チェック  
(Multiple Domestic Checks)



抗生物質検出ゼロ  
(Zero Antibiotic Detection)

厳格な検査体制: 私たちはブラジルのサプライヤーを信頼していますが、それだけに頼ることはありません。輸入時には厳格な抜き取り検査を実施し、日本国内で幾重ものチェックを行います。

実績: これまで、当社のブラジル産プロポリス原料から抗生物質が検出されたことは一度もありません。

「元気なハチが作るプロポリスだからこそ、人も元気が漲るのかもしれない」



# 日本プロポリス株式会社



〒136-0071 東京都江東区亀戸6-57-19 丸宇本社ビル7階

商品のご注文・お問い合わせ：0120-882-682

受付時間：月～金 10:00～17:00

Email: [web@nihonpropolis.co.jp](mailto:web@nihonpropolis.co.jp)